

2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年1月26日

上場会社名 日東電工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6988 URL <https://www.nitto.com/jp/ja/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高崎 秀雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務本部長 (氏名) 伊勢山 恭弘 TEL 06-7632-2101
 四半期報告書提出予定日 2022年1月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2022年3月期第3四半期	646,271	14.1	108,334	42.7	108,669	44.1	77,976	41.4	77,898	41.4	89,827	64.1
2021年3月期第3四半期	566,210	△0.8	75,902	26.1	75,389	25.9	55,158	29.2	55,106	29.2	54,739	53.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	526.37	526.10
2021年3月期第3四半期	370.38	370.12

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2022年3月期第3四半期	1,036,976	775,562	774,683	74.7
2021年3月期	965,901	716,686	715,868	74.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2022年3月期	—	110.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	110.00	220.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	855,000	12.3	133,000	41.8	133,000	42.5	95,000	35.1	95,000	35.3	641.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	149,758,428株	2021年3月期	149,758,428株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,756,178株	2021年3月期	1,792,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	147,991,538株	2021年3月期3Q	148,784,734株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

第一部 (参考) 2022年3月期第3四半期 (3ヶ月) の連結業績
(2021年10月1日～2021年12月31日)

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者 に帰属する 四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期 第3四半期	220,319	5.7	35,525	5.9	36,020	7.3	25,786	4.9	25,759	4.9	34,242	29.6
2021年3月期 第3四半期	208,472	8.3	33,534	75.6	33,566	78.0	24,584	81.5	24,562	81.6	26,417	18.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	174.05	173.97
2021年3月期第3四半期	166.00	165.90

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)における経済環境は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による影響からの回復が進むとともに、為替相場においては当初想定を上回る円安水準が継続しました。一方で、半導体材料の不足や原材料価格の高騰などが見られました。また、足元では、変異株の拡大、米国における高水準のインフレ懸念など、経済の先行きの不透明感が高まっています。

このような中、当社グループの主要な市場においては、スマートフォン向け高精度基板及びOLED用光学フィルム並びに組み立て用部材の需要が伸長しました。また、半導体関連部材やノートパソコン、タブレット端末用光学フィルムが引き続き堅調に推移し、自動車材料及び一般工業用部材がCOVID-19の影響から需要が回復しました。核酸医薬市場においては、COVID-19のワクチン開発が急ピッチで進んでおり、当社グループにおける受託製造及び関連部材の需要が高まっています。

当社グループにおけるCOVID-19への対応においては、すべての人の健康と安全を最優先に、感染拡大の防止とともに、お客様への供給継続に向けて取り組んでおります。引き続き、お客様への製品・サービスの提供に支障が生じないように、最大限努力いたします。

以上の結果、売上収益は前第3四半期連結累計期間と比較し14.1%増(以下の比較はこれに同じ)の646,271百万円となりました。また、営業利益は42.7%増の108,334百万円、税引前四半期利益は44.1%増の108,669百万円、四半期利益は41.4%増の77,976百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は41.4%増の77,898百万円となりました。

セグメント別の業績概況

① インダストリアルテープ

基盤機能材料は、前第3四半期連結累計期間に対して伸長しました。テレワークの拡大などを背景にタブレット端末、サーバーなどの電子機器に使用される半導体やセラミックコンデンサーの需要が増加し、それらの生産における工程用部材が伸長しました。また、ハイエンドスマートフォンの生産伸長に伴い組み立て用部材が増加しました。加えて、自動車材料や一般工業用部材、金属用保護材料などが、前第3四半期連結累計期間におけるCOVID-19の影響から需要が回復しました。

以上の結果、売上収益は249,101百万円(14.9%増)、営業利益は30,845百万円(47.8%増)となりました。

② オプトロニクス

情報機能材料は、売上収益が前第3四半期連結累計期間に及びませんでした。TV向け製品及びスマートフォン向けのLCDディスプレイ用光学フィルム、ITOフィルムなどの需要が減少しました。一方、ノートパソコン、タブレット端末用光学フィルムやスマートフォン向けのOLEDディスプレイ用光学フィルムの需要は増加しました。また、TV向け製品において、第1四半期連結累計期間に協業先への技術供与によるロイヤリティ収益を計上しました。

プリント回路は、前第3四半期連結累計期間に対して伸長しました。データセンター用途のハードディスクドライブ(HDD)の生産台数増加とHDDの高容量化に伴い、回路材料CIS(Circuit Integrated Suspension)の需要が増加しました。また、前連結会計年度から供給が本格化したハイエンドスマートフォン向け高精度基板は、採用機種が拡大し業績に大きく貢献しました。

以上の結果、売上収益は349,072百万円(7.9%増)、営業利益は74,076百万円(18.3%増)となりました。

③ ライフサイエンス

ライフサイエンスは、前第3四半期連結累計期間に対して伸長しました。世界的にCOVID-19ワクチンが不足している中、新たなワクチン開発が加速しており、当社グループは核酸受託製造においてCOVID-19ワクチンに使用される核酸アジュバント(核酸免疫補強材)の供給を開始し、新たに製造ラインを増設しました。また、市場の拡大を背景に、核酸合成用ポリマービーズ(NittoPhase™)の需要が拡大し、業績に寄与しました。医療用衛生材料の需要はCOVID-19による影響から緩やかな回復が見られました。

核酸医薬の創薬においては、第1四半期連結累計期間に肝線維症・肝硬変を対象とした製剤の独占ライセンス契約に基づく所定のマイルストーンを達成しました。また、肺線維症及び難治性の癌治療薬の治験に、引き続き取り組んでおります。

以上の結果、売上収益は39,729百万円(85.7%増)、営業利益は8,996百万円(前年同四半期は営業損失1,440百万円)となりました。

④ その他

メンブレン（高分子分離膜）は、前第3四半期連結累計期間に対して伸長しました。各種産業用途における需要が回復しました。なお、当セグメントには未だ十分な売上収益を伴っていない新規事業が含まれております。

以上の結果、売上収益は21,067百万円（18.0%増）、営業損失は4,030百万円（前年同四半期は営業損失4,269百万円）となりました。

(参考) セグメント別の状況 (9ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	売上収益	216,706	249,101	114.9
	営業利益	20,875	30,845	147.8
オプトロニクス	情報機能材料	283,220	276,200	97.5
	プリント回路	40,420	72,872	180.3
	計	323,641	349,072	107.9
	営業利益	62,633	74,076	118.3
ライフサイエンス	売上収益	21,389	39,729	185.7
	営業利益	△1,440	8,996	—
その他	売上収益	17,850	21,067	118.0
	営業利益	△4,269	△4,030	—
全社・消去	売上収益	△13,378	△12,700	—
	営業利益	△1,896	△1,555	—
合計	売上収益	566,210	646,271	114.1
	営業利益	75,902	108,334	142.7

※ 従来「インダストリアルテープ」の内訳として、「基盤機能材料」と「トランスポーターション」に分けて記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、「基盤機能材料」と「トランスポーターション」を統合し、「インダストリアルテープ」として記載しております。前第3四半期連結累計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(参考) セグメント別の状況 (3ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	売上収益	83,733	84,078	100.4
	営業利益	12,404	9,979	80.5
オプトロニクス	情報機能材料	99,437	91,124	91.6
	プリント回路	16,489	27,974	169.7
	計	115,926	119,099	102.7
	営業利益	24,865	25,989	104.5
ライフサイエンス	売上収益	7,590	14,284	188.2
	営業利益	△124	2,612	—
その他	売上収益	6,050	7,068	116.8
	営業利益	△1,905	△1,992	—
全社・消去	売上収益	△4,829	△4,210	—
	営業利益	△1,704	△1,064	—
合計	売上収益	208,472	220,319	105.7
	営業利益	33,534	35,525	105.9

※ 従来「インダストリアルテープ」の内訳として、「基盤機能材料」と「トランスポーターション」に分けて記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、「基盤機能材料」と「トランスポーターション」を統合し、「インダストリアルテープ」として記載しております。前第3四半期連結会計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(参考) セグメント別の状況 (年度予想)

(単位: 百万円 比率: %)

		当連結会計年度 (今回予想)	
		(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
		売上収益	前年同期比
インダストリアルテープ	売上収益	330,000	111.1
	営業利益	37,000	135.5
オプトロニクス	情報機能材料	362,500	97.2
	プリント回路	95,000	169.5
	計	457,500	106.7
	営業利益	93,000	115.2
ライフサイエンス	売上収益	56,000	187.6
	営業利益	13,000	—
その他	売上収益	27,500	118.2
	営業利益	△6,000	—
全社・消去	売上収益	△16,000	—
	営業利益	△4,000	—
合計	売上収益	855,000	112.3
	営業利益	133,000	141.8

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ資産合計は71,075百万円増加し、1,036,976百万円となり、負債合計は12,199百万円増加し、261,414百万円となりました。また、資本合計は58,875百万円増加し、775,562百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の74.1%から74.7%になりました。

主な増減は資産では、現金及び現金同等物が30,517百万円増加、売上債権及びその他の債権が14,307百万円増加、棚卸資産が13,351百万円増加、その他の流動資産が2,723百万円増加、有形固定資産が11,084百万円増加、使用権資産が1,655百万円減少しました。負債では、未払法人所得税等が4,794百万円増加、その他の金融負債（流動）が3,615百万円減少、その他の流動負債が10,439百万円増加、確定給付負債が1,546百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績につきましては、プリント回路でのハイエンドスマートフォン向け高精度基板の需要増加及び核酸受託製造におけるCOVID-19ワクチンに使用される核酸アジュバント（核酸免疫補強材）の需要拡大などにより前回予想を上回る見通しです。また、為替レートが前回想定より円安で推移しており、収益の押上げが見込まれます。

当第3四半期連結累計期間における業績やこのような状況などを勘案し、2022年3月期の連結業績予想を見直すことといたしました。なお、第4四半期以降の為替レートについては、1米ドル=113円を想定しております。

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日から2022年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	845,000	126,000	126,000	90,000	90,000	608.16
今回修正予想 (B)	855,000	133,000	133,000	95,000	95,000	641.93
増減額 (B-A)	10,000	7,000	7,000	5,000	5,000	—
増減率 (%)	1.2	5.6	5.6	5.6	5.6	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	761,321	93,809	93,320	70,308	70,235	472.71

上記の業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	300,888	331,406
売上債権及びその他の債権	182,939	197,247
棚卸資産	107,668	121,019
その他の金融資産	1,399	1,478
その他の流動資産	17,121	19,844
流動資産合計	610,017	670,996
非流動資産		
有形固定資産	270,813	281,897
使用権資産	14,979	13,323
のれん	4,593	4,581
無形資産	13,620	13,378
持分法で会計処理されている投資	392	558
金融資産	10,856	11,732
繰延税金資産	25,951	25,976
その他の非流動資産	14,676	14,530
非流動資産合計	355,884	365,980
資産合計	965,901	1,036,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	100,790	100,943
社債及び借入金	545	245
未払法人所得税等	11,225	16,020
その他の金融負債	22,834	19,218
その他の流動負債	47,387	57,826
流動負債合計	182,783	194,256
非流動負債		
その他の金融負債	17,161	16,333
確定給付負債	46,754	48,301
繰延税金負債	347	222
その他の非流動負債	2,167	2,301
非流動負債合計	66,431	67,158
負債合計	249,214	261,414
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	26,783	26,783
資本剰余金	50,070	50,056
利益剰余金	635,916	683,551
自己株式	△10,039	△9,834
その他の資本の構成要素	13,136	24,126
親会社の所有者に帰属する持分合計	715,868	774,683
非支配持分	817	879
資本合計	716,686	775,562
負債及び資本合計	965,901	1,036,976

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	566,210	646,271
売上原価	385,248	414,670
売上総利益	180,961	231,600
販売費及び一般管理費	79,178	96,578
研究開発費	26,104	27,498
その他の収益	3,652	4,753
その他の費用	3,428	3,942
営業利益	75,902	108,334
金融収益	449	1,413
金融費用	986	1,132
持分法による投資損益 (△は損失)	23	54
税引前四半期利益	75,389	108,669
法人所得税費用	20,230	30,692
四半期利益	55,158	77,976
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	55,106	77,898
非支配持分	51	78
合計	55,158	77,976
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	370.38	526.37
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	370.12	526.10

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	55,158	77,976
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	660	124
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,074	11,723
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	△0	△0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△3	2
その他の包括利益合計	△419	11,850
四半期包括利益合計	54,739	89,827
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	54,686	89,746
非支配持分	53	81
合計	54,739	89,827

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2020年4月1日残高	26,783	50,271	643,521	△27,505	△3,624	689,446	757	690,204
四半期利益	—	—	55,106	—	—	55,106	51	55,158
その他の包括利益	—	—	—	—	△420	△420	1	△419
四半期包括利益合計	—	—	55,106	—	△420	54,686	53	54,739
株式報酬取引	—	△200	—	—	△45	△245	—	△245
配当金	—	—	△30,188	—	—	△30,188	△22	△30,211
自己株式の変動	—	24	—	△32,930	—	△32,905	—	△32,905
その他の資本の構成 要素から利益剰余金 への振替	—	—	31	—	△31	—	—	—
所有者との取引額等 合計	—	△176	△30,156	△32,930	△76	△63,340	△22	△63,362
2020年12月31日残高	26,783	50,094	668,471	△60,435	△4,121	680,792	788	681,580

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2021年4月1日残高	26,783	50,070	635,916	△10,039	13,136	715,868	817	716,686
四半期利益	—	—	77,898	—	—	77,898	78	77,976
その他の包括利益	—	—	—	—	11,847	11,847	3	11,850
四半期包括利益合計	—	—	77,898	—	11,847	89,746	81	89,827
株式報酬取引	—	△69	—	—	△44	△113	—	△113
配当金	—	—	△31,076	—	—	△31,076	△20	△31,097
自己株式の変動	—	55	—	204	—	259	—	259
その他の資本の構成 要素から利益剰余金 への振替	—	—	813	—	△813	—	—	—
所有者との取引額等 合計	—	△14	△30,263	204	△857	△30,931	△20	△30,951
2021年12月31日残高	26,783	50,056	683,551	△9,834	24,126	774,683	879	775,562

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	75,389	108,669
減価償却費及び償却費	35,827	37,320
減損損失	436	1,198
確定給付負債の増減額	1,945	1,656
売上債権及びその他の債権の増減額	△22,652	△9,682
棚卸資産の増減額	△608	△11,013
仕入債務及びその他の債務の増減額	10,028	△452
前受金の増減額	1,185	8,991
利息及び配当金の受入額	502	441
利息の支払額	△480	△383
法人税等の支払額又は還付額	△21,425	△26,633
その他	△1,601	△6,770
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,547	103,341
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△44,972	△43,274
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	302	753
定期預金の増減額	839	232
投資有価証券の取得による支出	△334	△594
投資有価証券の売却による収入	85	764
関係会社株式の取得による支出	△880	△269
その他	0	981
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,959	△41,406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	64	△305
リース負債の返済による支出	△4,061	△4,143
自己株式の増減額	△33,310	△0
配当金の支払額	△30,188	△31,076
その他	△27	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,522	△35,550
現金及び現金同等物に係る為替換算差額の影響額	638	4,133
現金及び現金同等物の増減額	△33,295	30,517
現金及び現金同等物の期首残高	304,922	300,888
現金及び現金同等物の四半期末残高	271,627	331,406

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	インダ ストリアル テープ	オプトロ ニクス	ライフサ イエンス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	213,976	317,108	18,364	16,079	565,528	681	566,210
セグメント間の売上収益	2,730	6,532	3,025	1,771	14,060	△14,060	—
セグメント売上収益合計	216,706	323,641	21,389	17,850	579,588	△13,378	566,210
営業利益(△は損失)	20,875	62,633	△1,440	△4,269	77,798	△1,896	75,902
金融収益							449
金融費用							△986
持分法による投資損益 (△は損失)							23
税引前四半期利益							75,389

(注) 第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、従来「インダストリアルテープ」に含まれていた「基盤機能材料」と「トランスポーターション」を統合しております。前第3四半期連結累計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料、プロセス材料、自動車材料等)
オプトロニクス	情報機能材料、プリント回路
ライフサイエンス	医療関連材料
その他	高分子分離膜、その他製品

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	インダ ストリアル テープ	オプトロ ニクス	ライフサ イエンス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	246,985	343,344	36,506	18,598	645,435	835	646,271
セグメント間の売上収益	2,116	5,728	3,223	2,468	13,536	△13,536	—
セグメント売上収益合計	249,101	349,072	39,729	21,067	658,971	△12,700	646,271
営業利益(△は損失)	30,845	74,076	8,996	△4,030	109,889	△1,555	108,334
金融収益							1,413
金融費用							△1,132
持分法による投資損益 (△は損失)							54
税引前四半期利益							108,669

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料、プロセス材料、自動車材料等)
オプトロニクス	情報機能材料、プリント回路
ライフサイエンス	医療関連材料
その他	高分子分離膜、その他製品

(重要な後発事象)

該当事項はありません。